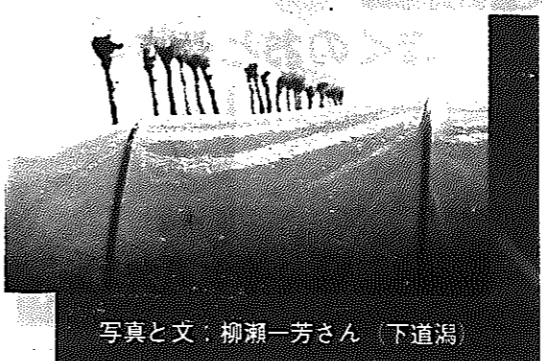


今月の表紙



写真と文：柳瀬一芳さん（下道湯）

白一色の世界だった蒲原も、3月の陽気に誘われ、辺り一面に、黒いあぜ道が顔を出し、草木や小動物などが生命を与えられたように動き出す。蒲原の人たちも忙しそうに動き回り、いよいよ蒲原平野の春の始まりのようである。
 今月のカメラマン やなせ・かずよし 写友「しろね」会長

受講生 申し込みます 仲間になりませんか

エアロビクス教室

健康づくりに、ぜひ参加してください。毎週火曜日 20時～21時 新飯田小体育館 どの時間帯でも 月1回参加700円 2回1,400円 3回以上2,000円 申し込みは直接会場へ 渡辺キヨ(横町乙 374・2453) または小原久子(東大通 374・2114)

ダンス 白和クラブ

毎週月曜日 19時30分～21時30分 青年教育センター (ただし第1月曜日は中央公民館) どの時間帯でも 月1回参加700円 講師 西川プロ 見学歓迎 湯川成之(五六の町 372・3460)

子猫

2月初めに生まれた子猫です。色は白・茶。6匹 里見力(上茨 375・3620)

品質管理講座

3月26日(月) 13時～17時 27日(火) 9時～16時 どの時間帯でも QCサークル活動の進め方、QCの七つ道具など基本と実践演習 定員20人 受講料2,500円 申し込み締め切り3月15日(木) 直接電話で申し込みください 新潟高等職業訓練校(247・736)

お出かけ ください 参加 しませんか

市青少年健全育成市民会議

3月5日(月) 13時～15時10分 青年教育センター どの時間帯でも 講演「家庭教育をめぐる諸問題と思春期と親の役割」 講師 尾組芳雄氏(新潟市教育委員会) 青年教育センター(373・2800)

デザイン・パワー展

デザインが日常生活の中で果たしているさまざまな役割を、実物や写真パネルなどで分かりやすく紹介します 3月15日(木)～19日(月) 新潟伊勢丹 7階アートホール □テーマ「暮らしとデザイン(人間・未来・夢)」 入場無料 県商工労働部(285・5511)

県立自然科学館

新しい展示物ができました □ふだんは見ることのできない宇宙からの放射線が見られる「宇宙からのメッセージ」、化石を展示した「過去の生物」、ボタンを押すだけで化学実験が見られる「化学の自動実験」の3つ とり風工作教室 春の青空に舞うとり風(とび)をみんなで作ろう 3月25日(日) 9時30分～16時 同科学館工作教室ほか 小学校3年生以上 定員40人 □参加費850円 申し込み3月17日(土)までに、往復はがきに住所・氏名・学校名・学年・電話番号を記入し、同科学館とり風工作教室係へ プラネタリウム 3月4日まで「コアラの国へ」。3月6日～10日、13日は番組入れ替えのため休止。3月11日から新番組「君も宇宙飛行士だ」を放映 以上詳しくは同科学館(〒950 新潟市女池蓮湯東2010-15 283・3331)へ。

第2回 国際雪合戦大会

小出雪まつり実行委員会が主催する 雪合戦大会です 3月18日(日) 9時～ 北魚沼郡小出町 東町広場 □部門 大人の部(中学生以上)、子どもの部(小学生) 人数 1チーム5人編成 参加費無料 申し込み3月10日(土)までに事務局へ □小出町産業課内 雪合戦大会係(〒946 北魚沼郡小出町南本町 02579・21111)

情報センター333

記号の説明
 □とこ
 □対象者
 □内容
 □問い合わせ

情報センター333は、市民の皆さんから自由に使っていただく「ナード」です。掲載申し込みは電話で、1日号は前月10日、15日号(お知らせ版)は前月25日までに広報広聴係(373・2111)へご連絡ください。

市制施行30周年

でおい ぶれあい はずんでしるね

広報 しろね

季節の詩 ⑫ 春の始まり

— 主な内容 —

- 12月31日現在の財政事情.....(2)(3)
- しろね30市民のつどい.....(4)(5)
- まちの話題、市政短信.....(6)(7)
- 青年海外研修記.....(8)
- 思い出、私の一冊.....(9)
- 市民談話室、クイズ.....(10)(11)
- イラスト.....(12)
- お知らせ市場.....(13)(14)
- 情報センター.....(15)

No. 412 平成2年

毎月1日・15日(お知らせ版)発行 発行日/平成2年3月1日 発行所/白根市役所

数字でみる市勢

2月1日現在 市内()内は前月比

人口36,092人(+13人)
 男17,572人(+4人)
 女18,520人(+9人)
 世帯8,554世帯(+8世帯)

1月中旬の
 出生45人 死亡33人
 転入43人 転出42人

▶山形県から風船の返事が来たということ、大通小学校へ出かけました。同校では、昭和63年にも風船を飛ばしてあり、このときは福島県郡山市の小学校から返事が来ました。▶山形や福島とも、風船が割れずに、よくも県外まで届いたものと感心しました。忙しい中、わざわざ返事を書いてくださり、心温まる思いがします。(笠)

▶まちおこしには仕掛け人が大事。大通地区のさいの神に出かけ、いっそうその思いを強くしました。▶時間にすれば1時間余りの行事。何日も前から準備したという役員の人たちに「この人たちがいるからできる」とAさん。地域の結び付きが薄いとされる新興住宅地で、自分たちのふたを創ろうという熱い思いが伝わってきました。(山)

▶今月から新コーナー「私の一冊」を始めます。あなたの一冊をぜひ紹介してください。お待ちしております。▶高校生のとき、庄司薫の本に熱中した覚えがあります。その中でも「さよなら快傑黒頭巾」が好きでした。当時はまだ純粋(?)で、男の子いかに生きるべきかみたいのことを考えていたようです。それにしても最近、本読んでねえ〜な。(渡)